

ふれあい

明るく健やかに

一昨年1月に発生した新型コロナの感染は、私たちに大変な恐怖と生活の変化をもたらしました。

ワクチンが世界に普及しましたが、多くの人が亡くなり、生活に苦しみストレスの多い日が続きました。

感染を防ぐため3密を避け、過去に経験したことのない生活や、自分の意志とは関係なくしづられ、我慢をする日を過ごしました。

学校では、今までのような入学式、卒業式、運動会などできず、地域のお祭りなども中止となり、マスク越しに口もとが見えないあいさつや会話が続いた2年間でした。

早春の寒い朝、通学路を歩いていると、4年生くらいの女の子が「おはようございます！」と元気にあいさつをしてくれました。瞬間、胸の中をさわやかな風が吹きぬけ「おはようございます！」と返事をしながら振り返ると、女の子は校門の中に入って行きました。胸の中に小さな感動があふれて、やがて大きく膨れ上がっていき、あの女の子はどんな娘さんに成長し、どんな大人になっていくのだろうか？そんなことまで想像してしまいました。

ここ村岡地区では、5小学校と2中学校のそれぞれの地域の人々が長年にわたり、登校や下校時に校門や交差点などで、見守りやパトロールをしながら、安全と安心を願って、あたたかく子どもたちを支えてくれています。コロナ禍であいさつする人、しない人がはっきりと二分割されてきているように見受けられます。

「おはようございます！」

「こんにちは！」

あいさつは、お互いのひとことで心をなごませ、人と人を結びつけていきます。地域、家庭、学校でのふれあいは、防犯、防災、交通安全はもちろん、明るい社会とすこやかな子どもの成長に大切です。



会長 石井 陽一

安全サポート隊

安全サポート隊部会長 市川 美沙樹

「安全サポート隊」と書かれた、青色のカードについてご存じでしょうか？小学校・中学校の保護者や地域の方に配布し、着用をお願いしております。

外出時、来校時、子どもたちの登下校の見守り時等、様々な場面で着用いただくことにより、地域の防犯意識を高め、子どもたちにも、地域の方に見守られているという安心感を与えることができますと考えております。

今後も、多くの方々に安全サポート隊の活動を知っていただき、明るい地域づくりの一役となれるよう、頑張っていきます。

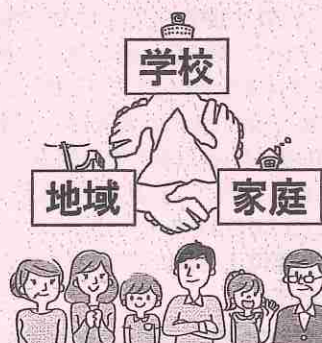


藤沢市三者連携推進事業とは

子どもたちの健やかな成長を支援するためには、学校だけに依存せず、学校・家庭・地域が連携し、環境づくりとさまざまな組織のネットワーク化を図ることが必要です。

そこで藤沢市では、平成11年度から各中学校区を単位に地域協力者会議を組織し、地域の課題を解決する支援体制づくりが進められてきました。これが三者連携事業といわれるもので、市内19中学校区に15の支援組織ができています。（2校で1つの支援組織が4つあります。）

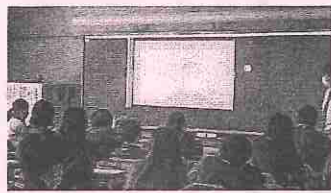
「むらおか・子ども相互支援会議」は、村岡・藤ヶ岡の2つの中学校区で1つの支援組織とし、村岡・大道・新林・高谷・大鋸の5小学校を加えて学校関係者と保護者、地域の人たちで構成しています。



学校から地域に向けて

藤ヶ岡中学校

校長 米倉 康子



◀オンライン講演の様子



体育祭の様子▶

今年は、本校創立60周年の年でした。1回生である現同窓会長様からの開校当時のお話を、動画で視聴しました。その中で「今、藤中を訪れると、みんなが挨拶してくれる。ただすれ違うより、楽しくていいですね」と、生徒たちがコロナ禍で頑張っている様子を励ましていただきました。今年はオンラインでの講演を行うなど、集うことが減る中で、地域の皆様の見守りを心強く感じる日々です。

今年度、全校770名で実施できた体育祭を、来年度は皆様にご覧いただきたいと願っております。

村岡中学校

校長 小池 規子

地域の皆様には、いつも本校の生徒を温かく見守っていただき、ありがとうございます。コロナ禍においては、生徒達が地域の方々と触れ合える機会は少ないですが、地域の方から「中学生があいさつをしてくれて嬉しいですよ」と、お褒めの言葉を頂くことが何度かありました。生徒達は、皆様の温かな眼差しや声かけに安心して日々を過ごし、あいさつの大切さを学んでいると思います。

これからも地域の皆様には、ご指導とご支援をよろしくお願いいたします。



文化祭の展示▶

▲文化祭美術の展示

文化祭ビンゴ大会の様子▶

村岡小学校

校長 木内 功



◀引き渡し訓練

▼体育学習参観の様子



本校は、『人間性豊かで、たくましく生きる子どもを育てる』を教育目標とし、由緒ある村岡地区にあって、2年後には創立150周年を迎えます。

この2年間は、コロナ禍にあって様々な制限の中での活動を余儀なくされました。学校行事は中止や延期が相次ぎ、地域の方々とお会いする機会は激減、学校の様子をお知らせすることも難しく、何とか相互支援会議が開催された際は、人と人が顔を合わせて伝え合うことの有り難さを深く感じました。

三者連携の重要性が増すいっぽうの今日、制限された中でいったい何が可能か模索しながら、これからも、愛される学校づくりを推進していきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

高谷小学校

校長 川島 祐輔

本校は児童数900名近い大きな学校です。

この2年間コロナ禍で、休校や分散登校、時差登校などがあり、学校行事も十分にはできませんでした。12月に、5年生は「高谷DE Night」という行事を行い、星を観たり校内お化け屋敷をしたりしました。望遠鏡を通して観た金星、木星、土星、そして月がとてもきれいでした。他の学年も遠足や校内音楽会などの行事を行うことができました。

地域の皆さまに見守られながら、子どもたちは元気に登校しています。



◀1年生の学年祭りの様子

▼校内音楽会の様子



新林小学校

校長 藤田 純子



◀そらまめの
さやむきをする1年生



◀6年生の演技を見る
子ども達

皆がマスクをした学校生活も2年目となりました。人との関わりを大切にしてきた子ども達ですが、9月には感染状況が深刻となり、グループ学習やクラスを超えた交わりが制限されてしまいました。それでも距離を取りながらの表現運動の練習や学習用端末を活用した学習も進められ、先生達と一緒にその時できることに一生懸命取り組み、厳しい時期をなんとか乗り越えました。

10月には念願の運動会が行われ、昨年はかなわなかった全校児童の交流が実現しました。どのようなときも元気いっぱいの子どもたちです。校外での行事も少しずつ行われるようになって来ました。

地域の皆様には今後とも子ども達の健やかな成長を温かく見守っていただきますようお願いいたします。

大鋸小学校

校長 一瀬 今日子

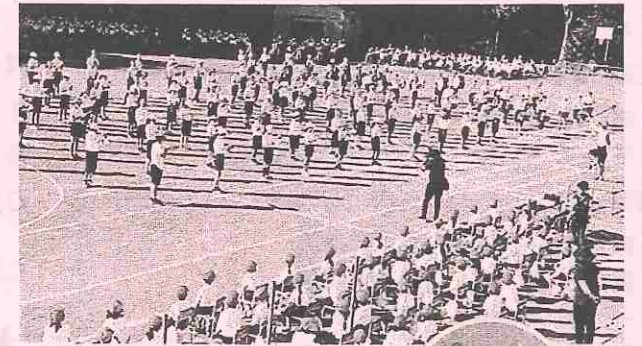
大鋸小学校は、現在、24クラス、796名の子どもたちが在籍しています。地域の方々に見守られ、毎日元気に登校してきます。

学校の自慢は、

- ①時間を守ることです。休み時間は、終わりのチャイムが鳴る前に、全員自主的に教室に戻ってきます。
 - ②あいさつがよくできることです。ぺこりと頭を下げてあいさつをする姿は、好感がもてます。
 - ③たてわり活動です。1・2年生の学校探検。3・4年生の地域めぐり。5・6年生のミュージックメモリー(音楽発表会)。
- そして、全校でのスポーツフェスティバル。

お世話をしたり、されたり、そして、かっこいい姿やかわいい姿を見合ったりと、様々な活動は、お互いの成長につながっていることでしょう。

そんな元気いっぱいに過ごす子どもたちの姿を、屋上から、謎のミミズクがそっと見守っています。



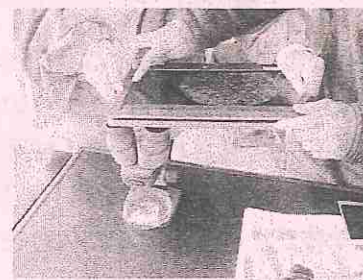
◀全校に向けての
6年生の鼓笛演奏

子どもたちを見守る
「屋上のミミズク」

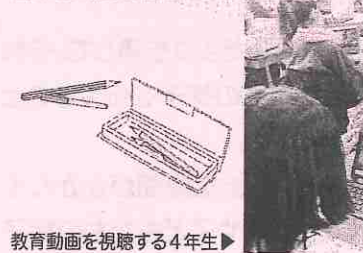


大道小学校

校長 町田 一郎



◀顕微鏡画像を
撮る6年生



◀教育動画を視聴する4年生▶

この数年間少しずつ児童数が増え、大道小学校も全校で670名を超えています。

心身の健康を第一に考え、日々の感染対策に留意しながら、今年度は少しずつ活動の幅を広げてきました。

学習においては児童一人一台のタブレットが配付され、7月に大容量のネット回線工事が終了しました。中・高学年は学習の中で利用することも増え、授業参観でご覧いただけたクラスもあったと思います。知識を得るためだけでなく、子どもたちが自分の考えを深めたり表現したりするためのツールとしていくにはどうすればよいか、教職員みんなでさらに研究を進めていきたいと思っています。

今年度も保護者や地域の皆様には、さまざまな場面で本校の教育活動を支えていただきました。本当にありがとうございました。

子どもたちの豊かな心を育んでいけますよう、今後ともご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

むらおか・子ども相互支援会議 委員

【会 長】

石 井 陽 一 村岡地区自治町内会連合会推薦

【副会長】

木 内 功 村岡小学校校長

小 池 規 子 村岡中学校校長

廣 田 和 江 村岡地区青少年育成協力会会長
(発信・共催事業部会長)

三 觜 忠 藤沢東部地区青少年育成協力会会長

高 久 進 藤沢東部地区自治会・町内会連合会

【会 計】

岩 本 絵里奈 大鋸小学校PTA

竹 下 里 美 高谷小学校PTA

【書 記】

村 島 枝生子 藤ヶ岡中学校PTA

市 川 美沙樹 村岡小学校PTA
(安全サポート隊部会長)

北 京 子 大道小学校PTA

【監 事】

安 部 信 輔 村岡中学校PTA

平 石 美 和 村岡地区主任児童委員

【委 員】

町 田 一 郎 大道小学校校長

藤 田 純 子 新林小学校校長

一 瀬 今日子 大鋸小学校校長

川 島 祐 輔 高谷小学校校長

米 倉 康 子 藤ヶ岡中学校校長
(ふれあい音楽会部会長)

成 戸 雄一郎 新林小学校保健会

木 下 志穂美 大鋸小学校PTA

大 谷 美津子 村岡地区青少年育成協力会
(広報部会長)

戸 倉 毅 村岡地区社会福祉協議会会長

望 月 隆 雄 村岡地区保護司

福 岡 則 夫 村岡地区防犯協会会長

佐 藤 八千代 藤沢東部地区青少年育成協力会

今 枝 京 子 藤沢東部地区主任児童委員

山 田 里 佳 村岡地区主任児童委員

鈴 木 光 博 藤沢東部地区保護司



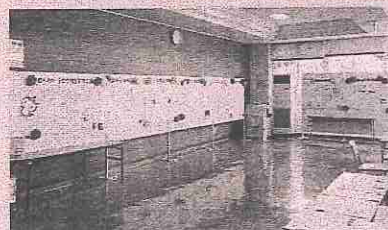
例年は中学校会場で、大盛況の中実施されるふれあい音楽会。地域の方に学校に訪れていただくよい機会となっていたので、2年続けての中止はやはり残念です。

そこで、子どもたちが活動した足跡を残せるよう、公民館の発案で、各校(村岡小・大道小・新林小・高谷小・藤ヶ岡中・村岡中)で工夫をして演奏や合唱などに取り組んだ音源をもちより、CDとして作成することになりました。

ジャケットは藤ヶ岡中の美術部が作成、音源は各校で録音ですので、音質などは整わないかもしれませんが、ずっと続けてきた地域での活動を継続しようという気持ちのつまった作品として、子どもたちの心に少しでも灯がともれば…と願っております。

村岡ギャラリー

MURAOKA GALLERY



今年度の「むらおかふれあいまつり」が中止となったことを受け、むらおか・子ども相互支援会議では、まつりの代替事業として村岡公民館にて開催されていた「村岡ギャラリー」に参加し、2021年12月1日から12月15日までの期間中、小中学校の学校だより及び学年だよりを展示しました。

地域の皆さまに学校だよりや学年だよりを通して、それぞれの学校での出来事や子どもたちの様子を伝えることができ、とてもよい機会となりました。

残念ながら元の生活に戻るには、まだ時間がかかりそうですが、今回の展示を通して、学校や子どもたちの様子を知る機会が少しでも増えてほしいと改めて感じました。

編集後記

今年度も新型コロナウイルスの影響で、活動が制限される1年となりましたが、このような中でも、引き続き子どもたちの健やかな成長のため、学校・家庭・地域と手を携えて活動してまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(編集委員一同)